

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東
 コード番号 4720 URL <https://www.johnan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 千島 克哉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,353	0.7	172	—	171	—	164	—
2025年3月期第3四半期	4,321	△3.8	△20	—	△17	—	△139	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 115百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	20.51	—
2025年3月期第3四半期	△17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,866	1,553	31.9
2025年3月期	5,230	1,438	27.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,551百万円 2025年3月期 1,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,901	4.9	149	—	141	—	93	—	11.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,937,840株	2025年3月期	8,937,840株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	906,399株	2025年3月期	906,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,031,530株	2025年3月期3Q	8,031,533株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げによる継続的な名目賃金の上昇がみられる一方、円安や人件費高騰などによる物価高も続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、子どもたちが主体的に生きていくための「生きる力」を育むことを目標とした学習指導要領の改定や多様化する大学入試制度に加えて全国の学校でのデジタルインフラの整備や生成AIの普及により、教育のデジタル化が急速に進むなど外部環境は大きく変化しております。

このような状況のもと、当社グループは、「たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading Company」を目指し、乳幼児から社会人まで幅広い層に対して、学び、成長していく機会と場を提供できる総合教育ソリューション企業として、企業活動に取り組んでおります。今般、9月に就任いたしました新社長のもと、新たに始まる新中期経営計画を策定し、12月に発表いたしました。この新中期経営計画は、「日本が抱える社会課題解決への挑戦」「保育園事業の成長」「学習塾事業の深化」に取り組むことを重点戦略としております。

また、2025年6月6日に開示いたしました「上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）」についてでもお知らせしました通り、当社は現在、流通株式数の増加や配当政策の見直しなど、実効性の高い施策を行い、上場維持基準（流通株式時価総額）の適合に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,353百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は172百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）、経常利益は171百万円（前年同四半期は経常損失17百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円）となりました。

a. 教育事業

児童教育部門では、保育園事業については売上高は堅調に推移しておりますが、「りんご塾」「Kubotaのうけん/アタマGYM」を含むキッズブレインパークが前期の一部教場整理等やインフルエンザの影響もあり、減収となっているものの、利益は改善しております。この結果、児童教育部門全体ではほぼ前年並みの売上高となりました。

映像授業部門（映像授業教室「河合塾マナビス」）では、生徒数が増加に加え途中退学者の抑制も進んだことから、前年同期を上回る売上高となりました。

個別指導部門（個別指導塾「城南コベッツ」）では、直営教室につきましてはりんご塾在籍の小学生の増加や、個別指導の冬期講習増加などはありましたが前期に複数の不採算教場の整理統合を行ったことや受験学年の減少などにより、前年同期を下回る売上高となりました。一方でFC教室につきましては新規教室や既存教室の生徒数の増加により、前年同期を上回る売上高となりました。

デジタル教材・ソリューション部門では、「りんご塾」のライセンス提供の増加数がやや落ち着いた状況となりましたが、オンライン学習教材「デキタス」や大学受験における総合型選抜対策教材「推薦ラボ」等の新規契約数が増加しており、ほぼ前年並みの売上高となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は4,077百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

b. スポーツ事業

子会社である株式会社久ヶ原スポーツクラブでは、スイミングクラブが退学者抑制策を進めておりますが、第3四半期末では前年をやや下回る在籍者数で推移しております。一方でスポーツジムの「マイスポーツ」は堅調に推移しておりますが、スポーツ事業全体では売上高は前年同期をやや下回ることとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は276百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、4,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ363百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が105百万円、現金及び預金が53百万円、建物及び構築物（純額）が60百万円減少したことなどによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、3,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ478百万円減少いたしました。これは主に長期借入金（1年内返済予定含む）が228百万円、未払金が129百万円、未払法人税等が52百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、1,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が164百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が49百万円減少し

たことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては本資料発表日現在において、2025年5月20日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,596,727	1,543,012
売掛金	285,569	250,012
有価証券	9,408	10,083
商品	13,940	11,255
貯蔵品	6,945	4,264
前払費用	273,840	259,303
その他	46,614	27,825
貸倒引当金	△41,228	△42,327
流動資産合計	2,191,819	2,063,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	572,217	511,777
工具、器具及び備品(純額)	26,693	25,858
土地	1,564,579	1,564,579
リース資産(純額)	132,784	109,631
その他(純額)	2,145	1,545
有形固定資産合計	2,298,420	2,213,392
無形固定資産		
のれん	12,372	3,806
ソフトウェア	15,613	16,880
その他	7,866	7,724
無形固定資産合計	35,852	28,412
投資その他の資産		
投資有価証券	136,139	30,756
敷金及び保証金	482,628	470,378
繰延税金資産	35,414	-
貸倒引当金	△5,220	△5,220
その他	55,028	65,628
投資その他の資産合計	703,990	561,542
固定資産合計	3,038,263	2,803,347
資産合計	5,230,082	4,866,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,271	17,673
1年内返済予定の長期借入金	331,566	243,116
未払金	288,002	158,582
リース債務	46,177	46,324
未払法人税等	65,024	12,845
契約負債	784,492	792,318
賞与引当金	75,370	39,540
資産除去債務	7,223	2,466
その他	218,475	240,052
流動負債合計	1,842,603	1,552,920
固定負債		
長期借入金	738,624	598,327
リース債務	127,812	97,109
繰延税金負債	211,362	191,200
役員株式給付引当金	18,278	18,278
退職給付に係る負債	436,281	437,296
関係会社事業損失引当金	10,026	13,156
資産除去債務	406,997	405,162
固定負債合計	1,949,384	1,760,530
負債合計	3,791,987	3,313,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,734	655,734
資本剰余金	695,932	695,932
利益剰余金	734,599	899,365
自己株式	△356,123	△356,148
株主資本合計	1,730,143	1,894,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,430	1,904
土地再評価差額金	△345,435	△345,435
その他の包括利益累計額合計	△294,004	△343,531
非支配株主持分	1,956	1,974
純資産合計	1,438,094	1,553,327
負債純資産合計	5,230,082	4,866,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	4,321,912	4,353,276
売上原価	3,323,238	3,245,251
売上総利益	998,674	1,108,025
販売費及び一般管理費	1,019,275	935,918
営業利益又は営業損失(△)	△20,600	172,107
営業外収益		
受取利息	95	1,162
受取配当金	3,496	2,237
受取賃貸料	3,861	3,861
その他	4,294	4,464
営業外収益合計	11,747	11,726
営業外費用		
支払利息	7,991	12,390
その他	884	405
営業外費用合計	8,875	12,796
経常利益又は経常損失(△)	△17,728	171,037
特別利益		
投資有価証券売却益	-	77,761
補助金収入	-	2,353
特別利益合計	-	80,115
特別損失		
固定資産圧縮損	-	1,984
減損損失	56,245	18,923
投資有価証券評価損	1,448	-
関係会社事業損失引当金繰入額	2,780	3,129
特別損失合計	60,475	24,038
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78,204	227,114
法人税、住民税及び事業税	52,979	35,614
法人税等調整額	7,820	26,715
法人税等合計	60,799	62,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,004	164,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,078	164,766

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,004	164,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,768	△49,526
その他の包括利益合計	15,768	△49,526
四半期包括利益	△123,235	115,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,310	115,239
非支配株主に係る四半期包括利益	74	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額(注) 2
	教育事業	スポーツ事業	計		
売上高					
個別指導部門(直営)	688,853	—	688,853	—	688,853
個別指導部門(F C)	195,785	—	195,785	—	195,785
映像授業部門	1,301,799	—	1,301,799	—	1,301,799
児童教育部門	1,398,525	—	1,398,525	—	1,398,525
デジタル教材・ ソリューション部門	224,705	—	224,705	—	224,705
その他	225,178	—	225,178	—	225,178
スポーツ部門	—	287,065	287,065	—	287,065
顧客との契約から生じる収益	4,034,847	287,065	4,621,912	—	4,621,912
外部顧客への売上高	4,034,847	287,065	4,321,912	—	4,321,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,384	—	6,384	△6,384	—
計	4,041,231	287,065	4,328,296	△6,384	4,321,912
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△79,322	58,316	△21,005	405	△20,600

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、報告セグメントの計上額は、「教育事業」56,245千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額(注) 2
	教育事業	スポーツ事業	計		
売上高					
個別指導部門(直営)	591,417	—	591,417	—	591,417
個別指導部門(F C)	207,731	—	207,731	—	207,731
映像授業部門	1,449,911	—	1,449,911	—	1,449,911
児童教育部門	1,396,613	—	1,396,613	—	1,396,613
デジタル教材・ ソリューション部門	230,025	—	230,025	—	230,025
その他	195,176	—	195,176	—	195,176
スポーツ部門	6,251	276,149	282,401	—	282,401
顧客との契約から生じる収益	4,077,126	276,149	4,353,276	—	4,353,276
外部顧客への売上高	4,077,126	276,149	4,353,276	—	4,353,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,285	—	5,285	△5,285	—
計	4,082,412	276,149	4,358,562	△5,285	4,353,276
セグメント利益	126,741	45,366	172,107	—	172,107

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、報告セグメントの計上額は、「教育事業」18,923千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産等に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	80,151千円	91,782千円
のれんの償却額	10,844千円	8,565千円